

令和6年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

大規模な園地整備と手厚い新規就農者支援により短期間で優良産地へ発展

○氏名又は名称 JA 岡山加茂川ぶどう部会（代表 瀬尾 和弘）

○所 在 地 岡山県加賀郡吉備中央町

○出 品 財 経営（ぶどう）

○受 賞 理 由

・地域の概要

加茂川地域は、岡山県の中心部に位置する吉備中央町の東部に属する。吉備高原と呼ばれる高原地帯で年間平均気温が14.5℃と、温暖な気候の県南部と比較するとやや冷涼な地域である。昼夜の温度差が大きいと、ぶどうの栽培に適しており、特に着色系品種の栽培には有利な地域となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

野菜や葉たばこの生産が中心の地域だったが、平成24年から行われた町営牧場跡地を利用した団地整備を契機とし、平成28年には岡山県の目玉事業である「岡山ハイブリットメガ生産団地」に選定されたことで、ぶどうの生産基盤の整備が進むとともに、県や町と連携した新規就農者支援の取組を充実させることにより、ピオーネやシャインマスカットなど消費者ニーズに合った付加価値の高い品種の栽培面積を拡大し、令和4年には販売金額2億3千万円を達成した。

・受賞者の特色

（１）作業性に優れた園地の整備と出荷期間の拡大による有利販売

県等の事業を積極的に活用することで、10.3ha、28区画の生産団地を整備した。なお、整備にあたっては、農業機械の利用を想定し、園地は緩傾斜とするとともに、周囲に作業道を設置し、作業の効率化・軽労化を図っている。また、花きからぶどうに転換した生産者が所有するハウス等を活用した加温栽培の拡大や専用冷蔵庫による貯蔵を行うことで出荷期間の拡大を図っており、市場での有利販売と生産者の所得向上を実現している。

（２）関係機関と連携した新規就農者への支援

県、町、JA及び農業公社と一体となって研修制度を構築している他、就農直後から収入を確保するための成木園地貸出制度、農業公社が借り上げた園地で植え付けから若木の管理までを研修できる制度等の取組により、スムーズな就農と早期経営確立を支援している。これらの制度を活用してこれまでに9名が新規就農しており、産地を支える重要な担い手となっている。

・普及性と今後の発展方向

貸借・売買可能な園地のデータベース化や補助事業を活用した園地整備により、担い手への園地集約を推進するとともに、新規就農者と多様な担い手の確保に努め、引き続き産地の抱える課題の解決を図っていく。